全国消防長会・一般財団法人全国消防協会

2026年11月10日

週間情報

No.0843

発行：全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: https://www.fcaj.gr.jp/

目 次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

両 会 の 動 き

◆ 「令和８年度京都府消防長会消防法令違反是正事例研究会」を開催
京都府消防長会（京都）

消 防 本 部 の 動 き

▽訓 練

◆ 「やくも防災フェスタ」の一環として車両救助訓練を実施
八雲町消防本部（北海道）

◆ 倒壊建物を想定したブリーチング訓練を実施
大船渡地区消防組合消防本部（岩手）

◆ 関西電力送配電株式会社と柱上救出合同訓練を実施
橋本市消防本部（和歌山）

◆ 「令和８年度八千代市消防本部救急活動練成会」を開催
八千代市消防本部（千葉）

◆ 鉄塔を使用した研修会および救助訓練を実施
名張市消防本部（三重）

◆ 土砂災害を想定した他機関連携訓練を実施
弘前地区消防事務組合消防本部（青森）

◆ 消防大学校幹部科卒業生２人を講師に招き「火災対応シミュレーション訓練」を実施
磐田市消防本部（静岡）

▽研 修

◆「高速道路上における消防活動の安全対策研修」を実施
鹿行広域事務組合消防本部（茨城）

◆「会津三広域消防本部合同訓練（講演会）」を実施
南会津地方広域市町村圏組合消防本部（福島）

▽その他

◆ 消防協力者へ感謝状を贈呈
西村山広域行政事務組合消防本部（山形）

◆ 来場者６万人超！練馬まつりで消防広報を実施！
東京消防庁（東京）

国 等 の 動 き

▽報道発表

◆ 令和８年９月の熱中症による救急搬送状況
（令和８年１０月２８日、消防庁）

◆ 令和８年（５月～９月）の熱中症による救急搬送状況
（令和８年１０月２８日、消防庁）

目次に戻る

両会の動き

◆　「令和８年度京都府消防長会消防法令違反是正事例研究会」を開催

京都府消防長会（京都）

京都府消防長会予防部会では、令和８年１０月１６日（金）、亀岡市内において、総務省消防庁および一般財団法人日本消防設備安全センターの支援を受け、「令和８年度京都府消防長会消防法令違反是正事例研究会」を開催しました。

この研究会は、府内消防本部の違反是正に携わる職員の知識向上と予防業務の強化を図ることを目的として開催したものです。

当日は、府内消防本部の担当者４０人が参加し、総務省消防庁派遣アドバイザーとして、神戸市消防局の野田祥世氏、宮津与謝消防組合消防本部の上田桂司氏、舞鶴市消防本部の赤﨑弘也氏、オブザーバーとして、京都市消防局の山路明伸氏をお招きしました。

研究会では、４消防本部から提出された違反事例についてグループ討議を行い、その後、各グループが検討結果を発表しました。

アドバイザーなどから、妥当性や過去の事例に基づく助言をいただき、大変有意義な研究会となりました。





【研究会の様子】

目次に戻る

消防本部の動き

▽訓　練

◆　「やくも防災フェスタ」の一環として車両救助訓練を実施

八雲町消防本部（北海道）

八雲町消防本部では、令和８年１０月３日（土）、噴火湾パノラマパークにおいて開催された体験・参加型防災イベント「やくも防災フェスタ」の一環として車両救助訓練を実施しました。

この訓練は、交通事故で車両に取り残された要救助者を救出する活動を来場者に見学していただき、消防の業務やその役割への理解を深めていただくことを目的として実施したものです。

訓練では、「軽自動車の単独事故により、運転者が車内に取り残されている」との想定で、油圧救助資機材などを用いた救出活動や二次災害を防止するための対応を紹介しました。

また、訓練終了後には、消防車両の展示や子ども用防火衣の試着、消防団加入促進ブースを設けました。

子どもから大人まで幅広い世代の方々に消防を身近に感じていただくとともに、消防への理解を深めていただく機会となりました。





【訓練の様子】

◆　倒壊建物を想定したブリーチング訓練を実施

大船渡地区消防組合消防本部（岩手）

大船渡地区消防組合消防本部では、令和８年１０月１６日（金）、旧越喜来（おきらい）中学校において、倒壊建物を想定したブリーチング訓練を実施しました。

この訓練は、大規模地震などにより倒壊した建物内に取り残された要救助者への進入経路を確保するため、建物の破壊技術の習得および救助活動能力の向上を目的として実施したものです。

訓練では、床面および壁面の破壊に加え、非常扉を活用して破壊進入訓練を実施し、各種救助資機材の取り扱い方法や効果的な活動要領、安全管理上の留意事項について確認しました。

今後も、実災害を見据えた実践的な訓練を継続し、救助技術の向上と安全管理の徹底を図るとともに、複雑・多様化する災害への対応能力の強化に努めてまいります。



【ドア開放訓練】



【ブリーチング訓練】

目次に戻る

◆　関西電力送配電株式会社と柱上救出合同訓練を実施

橋本市消防本部（和歌山）

橋本市消防本部では、令和８年１０月１６日（金）、関西電力送配電株式会社の敷地内において、同社の実設備を活用した柱上救出合同訓練を実施しました。

この訓練は、高所かつ感電などの危険を伴う特殊な環境下における、専門的知見を共有するとともに、現場指揮、安全管理および連携体制の強化を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、「電柱上で作業員が活動不能となった」との想定で、要救助者の確保、救出用資機材の設定、地上への降下までの一連の救助手順を確認しました。

今後も実践的な訓練を重ね、関係機関との連携強化を図るとともに、複雑多様化する災害への対応力および救助技術の向上に努め、市民の安全・安心の確保に万全を期してまいります。



【訓練の様子】

◆　「令和８年度八千代市消防本部救急活動練成会」を開催

八千代市消防本部（千葉）

八千代市消防本部では、令和８年１０月１９日（月）および２０日（火）の２日間、全救急隊を対象として、「令和８年度八千代市消防本部救急活動練成会」を開催しました。

この練成会は、傷病者に対する観察・判断・処置能力および隊活動の質の向上を図るとともに、各種病態生理への理解を深め、適切な特定行為の実施を確認することを目的として実施したものです。

当日は、ＭＣ指導医師を講師としてお招きし、実践的な想定訓練をブラインド形式で実施しました。訓練後の検討会では、指導救命士から訓練実施隊の活動状況について講評を受けるとともに、講師から医学的見地に基づく指導をいただきました。

今後も、訓練を継続し、救急活動の質の向上と救命率の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【検討会の様子】

目次に戻る

◆　鉄塔を使用した研修会および救助訓練を実施

名張市消防本部（三重）

名張市消防本部では、令和８年１０月９日（金）、１９日（月）および２０日（火）の３日間、中部電力パワーグリッド株式会社の協力のもと、鉄塔を使用した研修会および救助訓練を実施しました。

同月９日（金）には、中部電力パワーグリッド株式会社の社員を講師に招き、救助訓練に先立つ研修会を実施し、通電中の鉄塔における危険性や安全管理について、座学と実技を通じて理解を深めました。

また、同月１９日（月）および２０日（火）には、高所進入技術および安全管理要領の習熟を目的として、救助訓練を実施しました。

訓練では、「高さ約４０メートルの鉄塔上で作業員が熱中症により自力で行動できなくなった」との想定で活動を実施しました。

鉄塔上という普段経験することのできない不安定な高所環境での訓練は、救助技術の向上につながる貴重な機会となりました。

今後も、関係機関との連携を図り、安全・確実・迅速な災害対応に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆　土砂災害を想定した他機関連携訓練を実施

弘前地区消防事務組合消防本部（青森）

弘前地区消防事務組合消防本部では、令和８年１０月２３日（金）、土砂災害を想定した他機関連携訓練を実施しました。

この訓練は、災害現場において、ＮＰＯ法人北東北捜索犬チームとの円滑な連携強化を目的として実施したものです。

訓練では、「連日の大雨により土砂崩れが発生し、住宅および車両が巻き込まれた」との想定で、緊急消防援助隊登録部隊と災害救助犬が連携した救助および捜索活動を行い、土砂災害時における救助技法や他機関連携の重要性を再確認しました。

今後も各種災害を想定した実践的な訓練を継続し、同捜索犬チームをはじめとした関係機関との連携強化および災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

目次に戻る

◆　消防大学校幹部科卒業生２人を講師に招き「火災対応シミュレーション訓練」を実施

磐田市消防本部（静岡）

磐田市消防本部では、令和８年１０月２６日（月）および２７日（火）の２日間、磐田市消防署において、消防大学校幹部科卒業生２人を講師に招き「火災対応シミュレーション訓練」を実施しました。

この訓練は、火災活動での指揮隊の活動と各小隊間の連携力の強化を目的として実施したものです。

両日は、講義のほか図上訓練を実施し、刻々と変化する状況の中で、指揮隊の情報収集や判断、指揮命令系統の確認を行うとともに、各部隊の状況判断能力や情報伝達の重要性について理解を深めました。

今後は、本訓練で得た知識を現場活動に生かし、消防活動能力の向上に努めてまいります。



【講義の様子】



【図上訓練の様子】

目次に戻る

▽研　修

◆「高速道路上における消防活動の安全対策研修」を実施

鹿行広域事務組合消防本部（茨城）

鹿行広域事務組合消防本部では、令和８年１０月１５日（木）および１６日（金）の２日間、ネクスコ・パトロール関東千葉事業所隊長の伊藤友英氏を講師に招き、「高速道路上における消防活動の安全対策研修」を実施しました。

この研修は、今後当消防本部管内で延伸が予定されている高速道路上において、安全に活動するための知識・技術の習得、関係機関との連携強化および災害対応能力の向上を目的として実施したものです。

研修には、２日間で延べ１０１人の職員が参加し、パトロール隊の活動内容や安全に活動するための留意事項について理解を深めました。

今後も、高速道路という特殊環境下において安全に活動するため、関係機関との連携強化を図るとともに、災害対応能力の向上に努めてまいります。




【研修の様子】

◆「会津三広域消防本部合同訓練（講演会）」を実施

南会津地方広域市町村圏組合消防本部（福島）

南会津地方広域市町村圏組合消防本部では、令和８年１０月２０日（火）、当県南会津町の御蔵入交流館において、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部、喜多方地方広域市町村圏組合消防本部と合同（会津三広域消防連絡協議会）で、「会津三広域消防本部合同訓練（講演会）」を実施しました。

この講演会は、令和７年に発生した大船渡市大規模林野火災に出動した職員から、現場活動で得られた教訓などを学び、災害対応体制のさらなる充実強化を図ることを目的として実施したものです。

講演会では、会津三広域消防本部の職員が参加し、大船渡地区消防組合消防本部の荻野渉総務課長および山口友行消防課長補佐を講師に招き、「大船渡市林野火災の現場活動」と題してご講義いただきました。

講義を通じて、発災当時の現場活動や緊急消防援助隊の受援体制、得られた教訓のほか、林野火災などの災害対応に活用できるＤＸツールについて学ぶことができました。

今後も、講演で得られた知見を生かし、地域の安全・安心を確保するため、災害対応体制のさらなる充実強化に努めてまいります。




【講演会の様子】

目次に戻る

▽その他

◆　消防協力者へ感謝状を贈呈

西村山広域行政事務組合消防本部（山形）

西村山広域行政事務組合消防本部では、令和８年１０月２３日（金）、消防協力者６人（当日の出席者は２人）に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和８年８月１９日（水）、管内で発生した生花店（店舗兼倉庫）のビニールハウス火災において、火災に気づいた近隣事業所の従業員６人が事業所の消火器を持参して初期消火を行い、被害の拡大防止に大きく貢献したものです。

消防協力者６人の高い防火意識と勇気ある行動に対し、心より敬意と感謝の意を表します。



【贈呈式後の記念撮影】

◆　来場者６万人超！練馬まつりで消防広報を実施！

東京消防庁（東京）

東京消防庁練馬消防署では、令和８年１０月１８日（日）、練馬駅周辺において開催された第４９回練馬まつりで、消防特別警戒と露店１１０対象への火気指導、初期消火訓練、乗車体験などの消防広報を実施しました。

会場では、消火訓練参加者へ火災予防を呼びかける広報メッセージ付き消防バルーンや、電気火災予防のためのコンセントの清掃用具を配布しました。

配布した消防広報グッズは、子どもから大人まで好評を得るなど、消防バルーンを手にした子どもたちが会場内を歩くことで広報効果が高まり、およそ２，０００人が初期消火訓練に参加しました。

当日は、体験型広報と世代に応じた広報グッズの配布を組み合わせることで、幅広い世代の火災予防意識および防災意識の向上を図ることができました。



【火気指導の様子】



【初期消火体験の様子】

目次に戻る

国等の動き

▽報道発表

◆　令和８年９月の熱中症による救急搬送状況

（令和８年１０月２８日、消防庁）

熱中症による救急搬送人員について、令和８年９月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。
―以下省略―

○ 全文は、消防庁ホームページ（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/kyuuki_20261028.pdf）に掲載されています。

【連絡先】　消防庁　救急企画室　救急連携係
担 当：辻課長補佐、松田係長、出口事務官
ＴＥＬ：03-5253-7529
E-mai：kyukyukikaku-kyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

◆　令和８年（５月～９月）の熱中症による救急搬送状況

（令和８年１０月２８日、消防庁）

熱中症による救急搬送人員について、令和８年５月から９月までの確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。
―以下省略―

○ 全文は、消防庁ホームページ（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/kyuuki_20261028_2.pdf）に掲載されています。

【連絡先】　消防庁　救急企画室　救急連携係
担 当：辻課長補佐、松田係長、出口事務官
ＴＥＬ：03-5253-7529
E-mai：kyukyukikaku-kyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

目次に戻る

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。



【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。

・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課　柳田　　TEL：03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03 に投稿願います。

消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

○　あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。

○　全国消防長会ホームページの「令和版　消防デジタルイラスト集」に掲載されます。

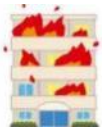
○　ホームページ掲載時には、「○○消防本部○○作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、全国消防長会ホームページを検索！！！



「消防行政相談事例集」を掲載中

○　これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムに掲載しています。



○　行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。

○　掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。





○　掲載する事例は、今後、随時追加していきます。

全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

○　全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。

令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報　※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。

フォロー（アカウント登録）していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら☞

X（旧 Twitter）登録用二次元コード



目次に戻る